

特集 2

平成2年度 公立高等学校 卒業者の進路状況

— 高等学校教育課 —

平成2年度公立高等学校全日制課程の卒業者の進路状況は次のとおりである。(平成三年五月一日実施の学校基本調査及び卒業後の進路状況調査による。なお平成2年度以前の数値も、その年度に対する同調査によるものである。)

一、概況

卒業者の総数は、男子一万二千二百三十六人、女子一万一千五百四十九人、計二万三千七百八十五人である。

大学等(大学、短期大学、大学・短期大学の別科及び高等学校専攻科をいう)への進学率(就職進学を含む)は、四十九年度以降減少していたが、五十八年度の21・9パーセントを最低に以後増加傾向が見られる。二年度は23・3パーセントと前年度に比して0.5ポイント減少した。男女別では、前年度に比し男子は1.3ポイント減少し、女子は0.3ポイント増した。(図1の①参照)

就職率は、五十年年度以降年々増加していたが、六十年年度、六十一年度と二年連続減少した。

二年度は、前年度に比して0.5ポイント減少した。(図1の②参照)

就職者の県内留保率(県内への就職率)は、昭和四十九年度以降年々増加し、二年度は72・1パーセントと最高を示した。(図2参照)

図1 大学進学率と就職率の推移

